

ボルネオ・オランウータン・サバイバル財団 (BOSF) 幹部一行の来日を歓迎して

ブンガラン・サラギ元農業大臣が理事長を務められる BOSF 幹部一行の来日を歓迎いたします。

かつては、東南アジアを中心に広く棲息していたオランウータン（いわゆる「森の住人」）が、私たち人類による森林伐採等の開発の影響で、居住空間を失ってきました。

オランウータンは、今や稀少な野生生物であり、実物を日本人にも見てもらいたい、と先日離任されたアンワル前駐日インドネシア大使が努力され、私の出身地群馬県にあるサファリパークに貸してくださり、多くの日本人が接する機会をつくってくれています。

従来、開発から「豊かさ」を享受してきた人類が、何をもって「豊かさ」を感じるのか、という価値観の転換を迫られています。隣人である「森の住人」が、安心して暮らせる環境を保つことができるかどうかは、私たち自身が今後、持続的な生活を送り続けることができるかどうかの物差しの一つとも言えるでしょう。

BOSF 幹部一行の来日を機に、一人でも多くの方が、人類を取り巻く環境問題を理解し、当事者意識を持ってくれることを期待しています。

平成 22 年 9 月 21 日

財団法人 日本インドネシア協会
会 長 福 田 康 夫